

☆6教振(後期計画)に基づく取組みを点検・評価するために、重要業績評価指標を設定し、見直し・改善につなげます。

主要施策	重要業績評価指標	現状値	R6目標値
1	自分にはよいところがあると思う児童生徒の割合	小6:83.5% 中3:77.8% (H31.4)	小6:86% 中3:83%
	将来の夢や目標を持っている児童生徒の割合	小6:84.8% 中3:72.3% (H31.4)	小6:88% 中3:75%
2	学校のきまり(規則)を守っている児童生徒の割合	小6:94.2% 中3:96.2% (H31.4)	100%に近づける
	いじめの認知件数に占める、いじめが解消しているものの割合(小・中・高・特支)	97.8% (H29 認知分H31.3.31時点)	100%に近づける
3	本県独自教材(※)を活用した授業を実施した県立高等学校の割合 ※「生命を次代につなぐ意識啓発事業 高等学校家庭科指導事例集」	84.0% (H30)	100%
4	保護者用学習資料(※)を活用した講座・研修会等の実施回数 ※県生涯学習振興室作成資料	96回 (H30)	150回
5	読書が好きな児童生徒の割合	小6:78.7% 中3:68.7% (H31.4)	小6:81% 中3:71%
6	毎日朝食を摂っている児童生徒の割合	小6:88.9% 中3:87.2% (H31.4)	90%程度
	子どものスポーツ実施率(1日60分以上)(小学5年生)	40.1% (R1)	60%
7	全国学力・学習状況調査で正答率が全国平均以上の科目数 ※年度毎の実施科目 H31:国、算、数、英 R6:国、算、数、理	5科目中2科目 (H31.4)	全科目(6/6)
	国語、算数・数学等の勉強が「好き」な児童生徒の割合が全国平均以上の科目数	5科目中2科目 (H31.4)	全科目(6/6)
	国語、算数・数学等の内容が「分かる」と答えた児童生徒の割合が全国平均以上の科目数	5科目中2科目 (H31.4)	全科目(6/6)
	学校の教育目標を踏まえた教科横断的な視点の指導計画を作成している学校の割合	小:85.4% 中:78.6% (H31.4)	小:100% 中:100%
	県内の大学等への県内進学者の割合	30.8% (H31.4)	33%
8	医学部医学科・難関大学合格者の割合	5% (H30)	5%以上
	CEFR A1レベル相当以上の英語力を取得または有すると思われる中学生の割合	36.4% (H30)	50%
	CEFR A2レベル相当以上の英語力を取得または有すると思われる高校生の割合	43.2% (H30)	50%
	CEFR B2レベル相当の英語力のある英語担当教員の割合	中:29.1% 高:60.3% (H30)	中:50% 高:85%
9	地域課題の解決に向けた探究型学習に取り組む県立高校の割合	65.4% (R1)	80%
	児童生徒のICT活用を指導することができる教員の割合	72.8% (H31.3)	75%
	学校におけるICT環境の整備(県立高校における無線LAN整備率)	19.6% (H31.3)	100%
10	将来の夢や目標を持っている児童生徒の割合(再掲)	小6:84.8% 中3:72.3% (H31.4)	小6:88% 中3:75%
	難しいことでも失敗を恐れずに挑戦する児童生徒の割合	小6:81.4% 中3:74.5% (H31.4)	小6:86% 中3:79%
	県内の大学等への県内進学者の割合(再掲)	30.8% (H31.4)	33%
	高校生の県内就職率	77.9% (H30)	80%以上
11	就職を希望している高校生の就職率	99.5% (H30)	100%
	特別支援学校における特別支援学校教諭免許状保有率	89.5% (H30)	98%
	障がいのある幼児児童生徒に対する「個別の指導計画」の作成率(通級による指導、通常の学級)	通級:74.0% 通常:93.4% (R1)	通級:100% 通常:100%
12	複数月平均の超過勤務時間が80時間を超える教員数	小:87人 中:445人 特支:2人 高:441人 (R1.10)	0人
	健康診断時における要精密検査該当者の精密検査受診率(教職員)	91.3% (H30)	100%
	学校管理下における事故災害で負傷する児童生徒の割合	8.1% (H30)	8%未満
15	地域の行事に参加している児童生徒の割合	小6:85.7% 中3:65.9% (H31.4)	小6:90% 中3:70%
	地域や社会をよくするために何をすべきか考える児童生徒の割合	小6:61.1% 中3:48.7% (H31.4)	小6:70% 中3:55%
16	「ふるさと塾」の活動に賛同して伝承活動をする団体数	305団体 (R1)	310団体
	「未来に伝える山形の宝」登録制度による登録市町村数	23市町村 (H30)	全市町村
17	地域学校協働本部の仕組みを生かし、地域住民等との協働による活動が行われている公立小中学校の割合	35.4% (H30)	70%
18	高校生のうち、ボランティア活動に参加した生徒の割合	82.7% (H30)	100%
	地域活動に取り組む青年グループ数	27市町村 75団体 (H30)	全市町村 82団体
19	公民館等で開催されている各種事業・講座等への参加人数	523,761人 (H29)	547,700人
20	県立文化施設等の来館者数	870,200人 (H29)	100万人
21	成人の週1回以上のスポーツ実施率	39.5% (R1)	60%
	インターハイ入賞数	夏季:45 冬季:24 (H30)	夏季:40以上 冬季:15以上
	国民体育大会 天皇杯順位	34位 (H30)	20位台
	オリンピック等国際舞台で活躍する選手の輩出	—	日本選手団選手数の1%以上(H29)

第6次山形県教育振興計画(後期計画)

(令和2~6年度)

基本目標

人間力に満ちあふれ、山形の未来をひらく人づくり



第6次山形県教育振興計画(後期計画)は、教育基本法の規定に基づく本県教育の振興のための施策に関する基本的な計画です。この計画は、基本目標として、「人間力に満ちあふれ、山形の未来をひらく人づくり」を掲げ、「人間力」という総合的な力の育成や、地域の未来を切り拓く人材の育成に取り組めます。

令和2年3月
山形県教育委員会

第6次山形県教育振興計画（後期計画）の概要

I 策定の根拠と趣旨

- 第6次山形県教育振興計画（後期計画）は、教育基本法第17条第2項に規定する「地方公共団体における教育の振興のための施策に関する基本的な計画」です。
- 平成27年度に策定した「第6次山形県教育振興計画」（概ね10年間）の前期（令和元年度まで）の成果と課題を総括し、現在の社会状況や今後求められる教育などを踏まえて見直しを行い、「後期計画」として策定しました。

II 計画の期間

- 令和2年度から令和6年度まで（概ね5年間）

教育を取り巻く状況等

<社会の状況>

- 人口減少と少子高齢化の進行及び地域活力の維持・向上への対応
- 技術革新とグローバル化の進展
- 価値観の多様化

<国の動き>

学習指導要領の改訂、第3期教育振興基本計画の策定等により、新しい時代に必要な育成すべき資質・能力及び目指すべき個人の姿を提示

<これからの社会においてより必要となる力>

- 多様な価値観、それぞれの個性や違いを理解し、互いの生き方や人格を尊重する力
- 多様な他者と協働しながら、主体的に判断し、新たな価値を生み出す力
- グローバル化の進展や急速な技術革新等、様々な変化に柔軟に対応し、未来を切り拓く力
- 郷土を愛し、地域の課題を発見し、解決するなど、地域社会の創造・発展に貢献する力

基本目標

人間力に満ちあふれ、山形の未来をひらく人づくり

知徳体がバランスよく調和し、自立した一人の人間として社会の発展に貢献する総合的な力である「人間力」を磨き、山形県の持続的発展のため、生まれ育った郷土を愛し、地域で活躍し、未来を切り拓いていく人材の育成。

〈テーマ〉 **つなぐ～いのち、学び、地域～**

<目指す人間像>

（基本目標を具現化）

「いのち」をつなぐ人

自分の存在や生き方を大切にしながら、多様性や個性を受け止め、他者の生命や生き方を尊重する人。先人から自分へと受け継がれてきた生命を、次の世代につないでいく人。

学びを生かす人

学びを重ねることを通して、知徳体を磨き、自ら考え、主体的に判断し、変化や困難に直面しても柔軟かつ的確に対応できる人。多様な他者と協働しながら新たな価値を生み出し、学びを人生や社会に生かす人。

地域をつくる人

郷土を愛し、地域とつながり続ける人。地域コミュニティの一員として、あるいは地域と継続的かつ多様な形で関わり、地域のよさや課題を主体的に捉え、地域の人と協働することを通して、地域の未来をつくる人。

広い視野と高い志を持って

（全体を貫く基本姿勢）

夢や希望を持って、その達成に向け行動し続ける姿勢。地域の窓から世界を見るなど広い視野で物事を考え、より高い価値の創造に果敢に挑戦し続ける人。

目指す人間像	9の基本方針	21の主要施策	主な取組み
「いのち」をつなぐ人	I 「いのち」を大切にし、生命をつなぐ教育を推進する	1 「いのちの教育」の推進	○幼児期から小・中・高等学校にわたる「いのちの教育」の推進 ○学校・家庭・地域が連携した「いのちの教育」の実践
		2 思いやりの心と規範意識の育成	○道徳教育・人権教育の充実 ○いじめ・不登校への対応及び未然防止に向けた取組みの推進 ○生徒指導・教育相談体制の強化 ○児童生徒と向き合うための環境の充実
		3 生命の継承の大切さに関する教育の推進	○児童生徒が生命の継承の大切さについて主体的に考える教育の実施 ○地域全体による子育て支援の促進
	II 豊かな心と健やかな体を育成する	4 教育の原点である家庭教育、幼児教育の推進	○家庭教育の充実（保護者への学習機会の提供・充実、保護者に対する相談体制の構築等） ○幼児教育の充実（幼児共育の推進、幼稚園教員・保育士等の教育力の向上、幼保小連携の促進）
		5 豊かな心の育成	○読書活動の推進 ○文化芸術活動の推進 ○様々な体験活動や奉仕活動の充実
		6 健やかな体の育成	○健康教育の充実 ○食育の推進 ○体力・運動能力の向上（学校体育等の充実）
学びを生かす人	III 社会を生きぬく基盤となる確かな学力を育成する	7 主体的・協働的な学びによる確かな学力の育成と個々の能力を最大限に伸ばすための環境整備	○確かな学力を育成するための指導方法の工夫・改善の推進 ○学校経営及び指導方法についての評価検証プロセスの充実 ○教員の指導力の向上 ○数学的・科学的思考力等の資質・能力の育成 ○少人数学級編制の推進及び「教育山形『さんさん』プラン」の効果検証 ○確かな学力の育成のための効果的・効率的な体制や環境の整備
	IV 変化に対応し、社会で自立できる力を育成する	8 グローバル化等に対応する実践的な力の育成	○グローバル化に対応した外国語（英語）教育の推進 ○「グローバル」な視点を踏まえた地域課題に向き合う力の育成 ○環境教育の推進 ○主権者教育・消費者教育の推進 ○高等教育の充実 ○学びのセーフティネットの整備
	V 特別なニーズに対応した教育を推進する	9 ICTを活用した情報活用能力の育成	○ICTを活用した学習の充実 ○学校におけるICT環境の整備 ○教員のICT活用指導力の育成
		10 自己実現を図るための勤労観・職業観の育成	○小・中・高等学校を通じたキャリア教育の充実 ○地域と連携したキャリア教育の推進 ○県内大学等との連携による県内進学又は県内就業の促進
	VI 魅力にあふれ、安心・元氣な学校づくりを推進する	11 特別支援教育の充実	○共生社会の形成を目指した特別支援教育の理解・啓発の推進 ○学校における特別支援教育の充実 ○社会参加に向けた支援の充実
		12 子どもの学習意欲を喚起する環境づくりの推進	○学校における働き方改革の推進 ○適性のある優れた教員の育成・確保 ○安全安心な教育環境の整備（学校施設の整備、学校における安全管理・安全教育の推進）
			13 時代の進展に対応した学校づくりの推進
		14 私立学校の振興	○私立学校の振興・発展に向けた私学助成 ○保護者の負担軽減を図るための支援 ○私立学校の耐震化の促進
	VII 郷土に誇りを持ち、地域の担い手となる心を育成する	15 郷土愛を育み、地域と協働する教育の推進	○郷土を学ぶ学習や地域の資源を活用した様々な体験活動等の推進 ○地域課題の解決を図るための探究的な学び及び地域と連携したキャリア教育の推進 ○県民の歌等の普及
		16 山形の宝の保存活用・継承	○地域における文化財の総合的な保存・活用方針等の策定・推進 ○本県の特色ある文化財の活用促進 ○伝統文化の担い手の育成
VIII 活力あるコミュニティ形成に向け、地域の教育力を高める	17 学校・家庭・地域との連携・協働の推進	○社会全体で教育を支え、教育に取り組む気運の醸成（「やまがた教育の日」の周知・普及活動の推進） ○学校・家庭・地域が連携・協働して子どもを育む環境づくりの推進（地域学校協働活動の充実等）	
	18 青少年の地域力の育成・地域活動の促進	○児童生徒の地域活動の促進（ボランティア活動、郷土を学ぶ学習等の推進） ○青少年による地域活動の促進及び青少年リーダーの育成	
	19 地域の教育力を高める生涯学習環境の充実	○地域における身近な学びの場づくりの促進（講座等多様な学習機会の提供や学習情報の発信） ○県立図書館等の社会教育施設の機能の充実 ○地域の学びを支える人材育成の促進	
IX 地域に活力を与える文化とスポーツを推進する	20 県民に喜びと安らぎを与える文化の推進	○文化に親しむ環境づくりの促進（文化に親しむ機会の充実、文化施設の充実及び活用促進等） ○文化を活用した地域活性化の促進（伝統文化・文化財を活用した地域づくりの推進等）	
	21 県民に元氣と感動を与えるスポーツの推進	○生涯を通して楽しめるスポーツ活動の推進 ○トップアスリート育成に向けた支援・強化策の推進 ○スポーツを通じた地域活性化の推進	